

# 就任の御挨拶

宮司 金井 格 かない いたる

御挨拶の前に、ロシアによるウクライナ侵攻の早期終息と、世界各地で起きている異常気象により大きな被災を受けた皆様に見舞いを申し上げると共に、亡くなられた方々に御冥福をお祈りいたします。

さて、この度令和五年三月八日の神職会におきまして、当社宮司に選任されました金井格と申します。何分にも浅学非才の身の上、先輩方が多くいる中選任されましたので辞退も考えましたが、任命されたからには全力で神明奉仕に取り組み所存です。どうぞ須崎前宮司と同様、御指導、御鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、六年後には酉年式年大祭という大きな祭典を控え、それに進むべき所なのですが、現在緊急の課題といたしまして、参道の枯損木、ナラ枯れの伐採を行わせて頂きます。特にナラ枯れの問題は全国に広がっており、御岳山でもここ二〜三年で大きな被害が見られるようになりました。伐採を行うにも機械も入らず急な斜面での作業となり多額な費用が掛かる為、神社といたしましても工面に頭を悩ましている所です。なんといたしましても参拝に来られる皆様も安心して参拝できますよう神社として精一杯努めさせていただきます。

神社を取り巻く環境も、社家の後継者、講中の減少等多々厳しさを増している中、奉賛会の設立等明るい兆しも見えて参りました。これからも皆様の御意見を承りながら、一歩ずつ進んで参りたいと考えております。

今後も神社護持、山上発展の為、微力ながら力を尽くして参りますので、皆様のなお一層の御支援、御厚情をお願い申し上げます。



これからの季節、山は紅色に染まり、爽やかな風に包まれ、そして御正月を迎えます。多くの方々の御参拝をお待ち申し上げます。  
最後に、皆様の御健勝と御多幸を御嶽大神に御祈念申し上げ、宮司就任の御挨拶とさせていただきます。

## 御奉賛のお願い

皆様方のお蔭によりまして、昨年度は、赤糸威鏡・紫裾濃甲冑の修理に宝物殿のケースや湿気対策工事、避雷器の設置など、懸案の事業を行うことが出来ました事、厚く御礼申し上げます。今後とも気持ちよく安心してご参拝いただけるよう、引き続き産安社本殿修理、枯損木の伐採などを進めて参りたいと存じます。

特に今年になり、ナラ枯れが広範囲に進み、一刻も早く対策しなければなりません。菌に感染した樹木は枝折れや倒木の恐れがあるため、道沿いの危険性の高い樹木より伐採していきませんが、境内地全域に及ぶため継続した伐採と保全のための植樹が必要となります。参道の御神木についても、枯損木等落枝倒木の危険を回避するための対策も行っていかなければなりません。皆様の深いご理解とご信仰を賜り、心からの御奉賛を仰ぎたくお願い申し上げます。

### 御奉賛 一口 二千円



## 武蔵御嶽神社祭礼日

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 一月       | 一日 元日祭          |
|          | 三日 太占祭          |
|          | 大口真神社祭          |
| 二月       | 三日 節分祭          |
|          | 初午 稲荷社祭         |
|          | 十一日 紀元祭         |
|          | 二十三日 天長祭        |
| 三月       | 八日 春季大祭(祈年祭)    |
|          | 二十二日 奉納俳句奉告祭    |
| 四月       | 下旬 産安社祭         |
|          | 二十九日 奉納剣道大会・介山祭 |
| 五月       | 七日 日の出祭(宵宮)     |
|          | 八日 日の出祭(神輿渡御)   |
|          | 十五日 男具那社祭       |
|          | 大口真神社祭          |
| 六月       | 三十日 夏越大祓        |
|          | 九月二十九日 大口真神社祭   |
|          | 流鏝馬祭            |
| 十月       | 第一日 敬神奉賛会大祭     |
|          | 十月第三日 奉納剣道大会    |
| 十一月      | 八日 秋季大祭(新嘗祭)    |
|          | 二十三日 末社祭        |
|          | 三十一日 大祓         |
| 毎月       | 八日 月次祭          |
| 毎日       | 日供祭             |
| 六月〜十一月   | 第四日 夜神楽         |
| 六月・十月    | 神楽と雅楽の一般公開      |
| 六月・七月・九月 | 修行体験講座          |

武蔵御嶽神社 敬神奉賛会

## 会長就任の御挨拶

野崎 啓太郎

この度、令和五年七月一日付で武蔵御嶽神社敬神奉賛会会長に就任いたしました野崎啓太郎と申します。敬神奉賛会は前任の村野弘一様が組織を整備され、昨年十月に設立報告祭と設立総会を挙行できました。今後も敬神奉賛会を会員の皆様と共に、御嶽大神の神恩に感謝し、大神を支える組織として整備して参りたいと存じます。

私は現在、東京都農業協同組合中央会会長を務めております。東京都内における野菜・果物の生産地では、古くより御嶽講が組織されています。多摩川の上流に鎮座する御嶽大神が恵みの水を与えられ、田畑を潤し、集落を豊かに導く、との信仰のもと現在も多くの方々が御岳山を参拝されています。

大神を信仰することは、農業の、あるいは人間生活の始まりであります。長い歴史の中で私達は多くの御加護を頂きながら、豊かな生活を築いて参りました。農家に生まれ、御嶽講の講員一人でもある私は、まずこの神恩に報いるように神社の発展に寄与して参りたいと考えております。

崇敬者の方を対象に敬神奉賛員の募集を広く始めたのは、平成二十九年十二月の事でした。武蔵御嶽神社はおもに東京都、埼玉県、神奈川県を中心とした関東地方の方々から崇敬を集めてきました。この方々に神社から情報をお届けし、参拝の便宜をはかるうとしたのが敬神奉賛員制度の始まりでした。

現在は日本列島の各地の方々より、会員の申込を頂いております。身は遠方にならながら、大神のご加護にあずかりたいとして申し込まれた方があったと伺いました。距離の遠近に関わらず崇敬の念の強さこそが、大神の御恵みを導きます。また、夜に御岳山に灯る明かりをたよりに、静かに手を合わせる方があったと伺いました。「祈る」という行為は自身の心に安らぎを与えてくれます。私も奉賛員の皆様と同じく、敬神の念を大切に務めて参ります。

御嶽大神が鎮まるこの御岳山は、悠久の歴史を誇ります。この武蔵御嶽神社が次代へと継承されるように、御嶽講、敬神奉賛会、崇敬者の皆様と共に尽力して参りたいと存じます。どうかお力添えを頂きたくお願い申し上げます。



## 敬神奉賛員募集のご案内

当社では、敬神奉賛員を募集しております。敬神奉賛会とは、御嶽大神の御神徳を敬う方々の集まりです。皆様の敬神の念により、武蔵御嶽神社が永続的に護持発展することを目的に創設されました。

奉賛員には例祭、祭典・行事のご案内のほか、新年に向けての御神札頒布など各種の特典が受けられます。趣旨にご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

※案内申し上げます。

来年度より、会員の種別が変更となります。現会員の皆様におかれましてはご確認を頂き、来年度更新の際はお手続きをお願い申し上げます。

### 賛助費

特別会員（会社で入会希望の場合） 一〇,〇〇〇円  
個人会員 五,〇〇〇円

家族会員（個人会員の同一世帯のご家族一名様毎）

三,〇〇〇円

※詳しくは社務所までご連絡ください。



令和4年10月2日 敬神奉賛会設立奉告祭と懇親会の様子